



北海道立正学園校  
旭川実業高等学校  
広報部  
TEL(0166)51-1246  
旭川実業高校HP

# 3級自動車整備士

## 100%合格

令和3年3月21日(日)に実施された「3級自動車整備士資格試験」の結果が4月6日(火)に発表されました。この資格は国家資格であり、受験した卒業生37名全員が合格し100%を達成するという快挙を成し遂げました。なお、全国の平均合格率は毎年60%程です。自動車関連企業に就職する生徒にとって、整備士資格は必要不可欠な資格です。自動車科では、卒業生の半分以上がこの仕事に就いて

### 昨年引き続き2度目

### 緊急事態宣言発令

新型コロナウイルスが世界を一変させてから一年が過ぎました。蔓延防止に努めてきましたが、5月16日(日)に2度目の緊急事態宣言発令となりました。医療者へのワクチン接種は完了しています

が、一般への接種の目的はついていません。しかし、本校では、学習機会を確保するため、十分な感染防止措置を取り、授業を続けています。万が一、学校休業になっても、オ



が、学校休業になっても、オ

ています。主な就職先としては地元企業である旭川トヨペット(株)や旭川日産自動車(株)、北海道ふそう(株)、メーカー系の本田技研工業(株)、トヨタ自動車(株)が挙げられます。講習を担当した川上先生は「今年

は習熟度別に分け、丁寧な指導を心がけてきました。生徒たちは諦めることなく努力を続け、全員合格に繋がりました。頑張る姿には素晴らしいものがありました。」と生徒の奮闘を称えました。

オンライン授業やオンデマンド配信の準備が整っています。

### 令和3年度 学園経営の方針

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延は、我々の価値観を見直す契機となり、旧来の既得権益を主張する人々に「NO」を突きつけた。世界経済が深刻な打撃を受けるなか、新時代の流れを見極めて変革した人と、慣習にしがみついた人の差は歴然としてきている。まさに新時

代が幕を開けたのだ。我々は前者を目指す。工業科・商業科・普通科を併せ持つ全道唯一の総合高校として新たな「旭実」ブランドを立ち上げ、本校ならではの良さ(誠実さ、思いやり、粘り、努力の大切さを教える教育)を更に発展させ、改革を断行する。

令和3年度は、この姿勢を本

### 旭実新一年生 いざ、夢の実現へ

#### 【新歓・部活動紹介】

4月9日(金)、「新入生歓迎集会」が行われ、新入生代表の上村柚羽さん(難関選抜コース・桜岡中)が力強く「誓いの言葉」を述べました。その後、各科代表生徒からの科紹介や生徒会による学校紹介、ダンスサークルの歓迎パフォーマンスが披露されました。また、13日(火)には新1年生対象に「部活動紹介」が行われました。今年度は各教室でオンライン紹介となりました。



代表生徒からの科紹介や生徒会による学校紹介、ダンスサークルの歓迎パフォーマンスが披露されました。

#### 【3年間の抱負】



普通科・藤澤 香椎さん(佐呂間中) 「私は旭川実業高校に入

学して、学業に精一杯力を入れていると思います。定



自動車科・宮崎 舜矢君(東光中) 「僕は将来トヨタの本社に就職したいと思っています。そのために社会性、資格、礼儀、勉学を旭川実業高校で頑張り、夢を掴みたいと思います。」



機械システム科・角 井然君(永山中) 「高校生になって初めての実習がとても楽しくて、もってみたいと思います。基礎を忘れずに技術の習得を目指していきたいです。また、早く学校に慣れて、色々な資格にも挑戦していきたいと考えています。」



商業科・武田 煌世君(忠和中) 「将来の進路に向

期試験や模試などで自分の全力を出し切れるよう日々の授業を取り組みたいです。また、友達と幅広く交流して高校生活を充実、かつ楽しめるように頑張りたいです。」

け、いろいろな資格を取れるよう頑張っていきたいと思っています。また、学校行事では積極的に取り組むということを意識し、そして皆と一致団結を図り悔いのない3年間を過ごしていきたいと思えます。」

#### 春光台中学校に消毒スタンド寄贈

5月11日(火)、機械システム科の生徒が製作した「足踏み式消毒スタンド」を春光台中学校に寄贈しました。このスタンドはスプレーボトルに触れることなく手指を消毒することが出来ます。材料には木材を使用し、見た目の柔らかさを演出しています。少しでも気分を和ませてほしいという思いが込められています。コロナ感染症防止の一助になってくれることを願っています。



もう、「学園は生徒のためにある」を常に念頭に置き、独善に走らず、教職員同士の切磋琢磨と連携を更に強めていく。

令和4年度から始まる新教育課程へのスムーズな移行を目指し、ICT教育施設の整備と新しい教育内容(プログラミング教育など)に即した実践的な取り組みを加速させるべく教育環境を整えていく。